

広島電鉄株式会社の呉市域バス路線及び呉市生活交通の平成28年度収支状況等について（報告）

① 広島電鉄株式会社のバス路線

1 現 状

平成28年度における広島電鉄株式会社（以下「広島電鉄」といいます。）バス路線の業務量は、平成27年10月に天応川尻線を吉浦天応線、仁方川尻線に分割した影響等で実車走行キロが、平成27年度よりも約9万km減少しました。乗車人員についても、約24万人減少しています。

次に、収支状況について前年度と比較すると、バス利用者の減少等の影響もあり、経常収益が約2,868万円減少した一方、築地整備工場新設に伴う仮設車庫の整備費及び借地料等で臨時的な経費が発生したことで経常費用が約2,927万円増加したため、経常収支は約5,796万円悪化しています。

2 業務量状況

(各年度の3月31日現在の数値)

区 分		平成28年度 (a)	平成27年度 (b)	比 較 (a)-(b)	
在籍車両数 (乗合)	両	108	108	0	
路線数	路線	11	11	0	
実車走行キロ (乗合)	km	4,077,509.1	4,168,318.9	△ 90,809.8	
乗車人数	定期外	人	6,415,423	6,503,976	△ 88,553
	定期	人	3,026,042	3,176,502	△ 150,460
	合計	人	9,441,465	9,680,478	△ 239,013
収支状況	経常収益	千円	1,809,167	1,837,851	△ 28,684
	経常費用	千円	2,149,468	2,120,194	29,274
	経常収支	千円	△ 340,301	△ 282,343	△ 57,958

3 路線別収支（経営支援補助金）状況等

黒字路線は、「辰川線」及び「長の木長迫線」の2路線となっており、赤字路線は9路線となっています。

この結果、平成28年度バス事業経営支援補助金の交付額は、3億8,700万円（予算額：3億9,000万円）となり、前年度との比較では、6,700万円の増となりました。

(単位:人,千円)

区 分	平成28年度							平成27年度							対前年度比較			
	乗車人数 ①	経常収益 (a)	経常費用 (b)	経常収支 (c) (a)-(b)	経常 収支率 (a)/(b)	経常費用 + 適正利潤 (d)	経営支援 補助金 ③ (d)-(a)	乗車人数 ②	経常収益 (a')	経常費用 (b')	経常収支 (c') (a')-(b')	経常 収支率 (a')/(b')	経常費用 + 適正利潤 (d')	経営支援 補助金 ④ (d')-(a')	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	経営支援 補助金 ③-④	
1 宮原線	908,919	142,089	145,956	△3,867	97.4%	148,875	6,786	938,666	144,188	141,265	2,923	102.1%	※黒字のため補助対象外	—	△ 29,747	△6,790	6,786	
2 阿賀音戸の瀬戸線	734,754	139,039	206,392	△67,353	67.4%	210,520	71,481	767,867	143,138	210,843	△67,705	67.9%	215,060	71,922	△ 33,113	352	△441	
3 呉倉橋島線	1,158,748	304,340	373,492	△69,152	81.5%	380,962	76,622	1,191,299	309,920	358,404	△48,484	86.5%	365,572	55,652	△ 32,551	△20,668	20,970	
4 広長浜線	484,534	83,780	105,178	△21,398	79.7%	107,282	23,502	538,145	93,021	112,037	△19,016	83.0%	114,277	21,256	△ 53,611	△2,382	2,246	
5 吉浦天応線	829,334	139,930	195,717	△55,787	71.5%	199,631	59,701	397,997	67,368	94,340	△26,972	71.4%	96,227	28,859	431,337	△28,815	30,842	
6 仁方川尻線	1,385,477	252,453	276,288	△23,835	91.4%	281,814	29,361	697,274	126,003	132,824	△6,821	94.9%	135,481	9,478	688,203	△17,014	19,883	
7 郷原黒瀬線	1,009,796	209,825	252,685	△42,860	83.0%	257,739	47,914	992,760	205,889	245,204	△39,315	84.0%	250,108	44,219	17,036	△3,545	3,695	
8 辰川線	252,638	33,277	29,727	3,550	111.9%	※黒字のため補助対象外	—	251,248	33,252	28,745	4,507	115.7%	※黒字のため補助対象外	—	1,390	△957	—	
9 長の木長迫線	537,170	70,221	68,099	2,122	103.1%	※黒字のため補助対象外	—	534,799	69,578	66,300	3,278	104.9%	※黒字のため補助対象外	—	2,371	△1,156	—	
10 三條二河宝町線	179,892	25,182	64,759	△39,577	38.9%	66,054	40,872	170,473	23,651	63,022	△39,371	37.5%	64,282	40,631	9,419	△206	241	
11 焼山熊野苗代線	1,960,203	409,031	431,175	△22,144	94.9%	439,799	30,768	2,012,677	411,850	417,028	△5,178	98.8%	425,368	13,518	△ 52,474	△16,966	17,250	
12 天応川尻線	—	—	—	—	—	—	—	1,187,273	209,993	250,182	△40,189	83.9%	255,185	45,192	△ 1,187,273	40,189	△45,192	
合計	9,441,465	1,809,167	2,149,468	△340,301	84.2%	—	—	9,680,478	1,837,851	2,120,194	△ 282,343	86.7%	—	—	△ 239,013	△57,958	—	
黒字路線	2路線	103,498	97,826	5,672	105.8%	—	—	3路線	247,018	236,310	10,708	104.5%	—	—	—	△5,036	—	
赤字路線	9路線	1,705,669	2,051,642	△345,973	83.1%	2,092,676	387,007	9路線	1,590,833	1,883,884	△293,051	84.4%	1,921,560	330,727	—	△52,922	56,280	
経営支援補助金 (決算見込額)							387,007	経営支援補助金 (決算額)							320,000	67,007		

注1 適正利潤・・・経常費用の2%相当額

注2 12「天応川尻線」は平成27年10月から5「吉浦天応線」6「仁方川尻線」に分割されました。

【参考】

区 分	平成28年度							平成27年度							対前年度比較		
	乗車人数 ①	経常収益 (a)	経常費用 (b)	経常収支 (c) (a)-(b)	経常 収支率 (a)/(b)	経常費用 + 適正利潤 (d)	経営支援 補助金 ③ (d)-(a)	乗車人数 ②	経常収益 (a')	経常費用 (b')	経常収支 (c') (a')-(b')	経常 収支率 (a')/(b')	経常費用 + 適正利潤 (d')	経営支援 補助金 ④ (d')-(a')	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	経営支援 補助金 ③-④
12 天応川尻線	—	—	—	—	—	—	—	1,187,273	209,993	250,182	△40,189	83.9%	255,185	45,192	△ 1,187,273	40,189	△45,192
5 吉浦天応線	829,334	139,930	195,717	△55,787	71.5%	199,631	59,701	397,997	67,368	94,340	△26,972	71.4%	96,227	28,859	431,337	△28,815	30,842
6 仁方川尻線	1,385,477	252,453	276,288	△23,835	91.4%	281,814	29,361	697,274	126,003	132,824	△6,821	94.9%	135,481	9,478	688,203	△17,014	19,883
計	2,214,811	392,383	472,005	△ 79,622	83.1%	481,445	89,062	2,282,544	403,364	477,346	△ 73,982	84.5%	486,893	83,529	△ 67,733	△ 5,640	5,533

4 今後の方向性

市民の移動手段を確保するため、これらのバス路線維持に係る経費に対し引き続き広島電鉄へ補助するとともに、広島電鉄が呉市域において運行するバス車両の更新に際しては、誰もが利用しやすいノンステップバスを導入するための支援を継続することとし、バスの利用促進を図っていきます。

また、平成29年度においては、交通系ICカード「PASPY」システムの高度化を図り、全国相互利用カード（10カード）の片利用サービス、直通乗継割引及び共通定期券の機能を導入し、利用者の移動に係る利便性の向上を図るとともに、路線再編等運行効率の向上による持続可能な公共交通網の形成を目指すこととしています。

注1：全国相互利用カードの片利用サービス・・・Suica, PASMO等の全国相互利用カード（10カード）がPASPYエリアでも利用できるようになります。

注2：直通乗継割引・・・路線ごとに指定した乗継拠点で乗り継いだ場合、直通時と運賃を同額にし、乗継ぎによる運賃面の負担を解消します。

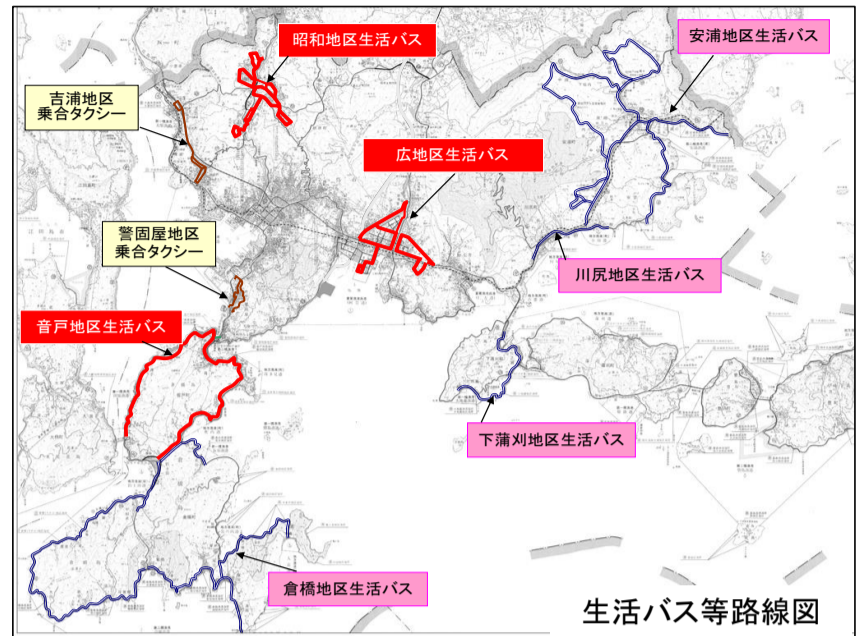
注3：共通定期券・・・定期券は購入した会社の運行便でしか利用できませんが、乗降地点が同じであれば、他社の運行便でも利用できるようになります。

② 呉市生活交通

1 現状

旧合併町4地区（下蒲刈、川尻、倉橋及び安浦）及び広島電鉄が路線退出した3地区（音戸、広及び昭和）の市内7地区において、市民生活に不可欠な公共交通を確保するため、地元交通事業者等に対し、生活バスの運行を依頼しています。また、吉浦及び警固屋地区においては、地域住民が主体となり、地域の移動ニーズに即した形態で乗合タクシーが運行されています。

しかしながら、人口減少に伴いこれらの生活交通の利用者が一層減少するおそれがあり、バス等の運行に係る収支状況の悪化が懸念されるため、バスの運行回数や運賃について適宜見直しを行っているところです。平成28年度は、下蒲刈地区、警固屋地区において、経常収益の改善を図るため運賃改定を行い、吉浦地区では、落走小学校と吉浦小学校の統合に伴い、小学校の登下校便として対応するための増便をしました。



2 路線別収支（運行負担金）状況等

生活バス

(単位：人、千円)

区分	平成28年度							平成27年度							対前年度比較			
	人口	乗車人数 ①	経常収益 (a)	経常費用 (b)	経常収支 (c) (a)-(b)	運行負担金 〔うち県補助〕③	経常収支率 (a)/(b)	人口	乗車人数 ②	経常収益 (a)	経常費用 (b)	経常収支 (c) (a)-(b)	運行負担金 〔うち県補助〕④	経常収支率 (a)/(b)	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	運行負担金 ③-④	
1 下蒲刈	1,518	9,891	1,087	12,535	△11,448	11,400 [103]	※ 13.1%	1,582	12,499	638	13,245	△12,607	11,400 [0]	※ 12.5%	△ 2,608	1,159	0 [103]	
2 川尻	8,678	12,822	1,485	13,860	△12,375	11,121 [612]	※ 13.6%	8,899	13,165	1,417	13,393	△11,976	9,600 [157]	※ 13.7%	△ 343	△399	1,521 [455]	
3 倉橋	5,676	46,150	8,913	30,710	△21,797	21,634 [4,846]	29.0%	5,901	50,140	9,939	32,826	△22,887	22,887 [4,817]	30.3%	△ 3,990	1,090	△1,253 [29]	
4 安浦	11,203	45,191	5,586	30,062	△24,476	24,372 [4,193]	※ 25.7%	11,367	47,030	6,080	27,538	△21,458	21,458 [3,415]	※ 30.1%	△ 1,839	△3,018	2,914 [778]	
5 音戸	12,204	40,737	7,765	22,713	△14,948	14,270 [1,347]	34.2%	12,453	42,773	7,914	23,446	△15,532	15,120 [1,403]	33.8%	△ 2,036	584	△850 [△56]	
6 広	46,942	横路	63,289	8,523	25,085	△16,562	16,460 [429]	34.0%	46,806	65,892	8,643	25,636	△16,993	16,200 [442]	33.7%	△ 2,603	431	260 [△13]
		白石白岳	91,578	14,710	28,641	△13,931	12,411 [1,062]	51.4%		93,188	15,352	29,595	△14,243	12,419 [1,134]	51.9%	△ 1,610	312	△8 [△72]
8 北コース	34,349	84,489	11,340	26,882	△15,542	15,470 [372]	42.2%	34,665	89,570	11,497	28,110	△16,613	16,600 [372]	40.9%	△ 5,081	1,071	△1,130 [0]	
9 昭和 中央コース		83,246	9,730	20,462	△10,732	10,732 [1,093]	47.6%		82,647	9,545	17,925	△8,380	6,770 [1,116]	53.2%	599	△2,352	3,962 [△23]	
10 南コース		45,362	9,470	20,203	△10,733	10,270 [980]	46.9%		47,100	9,773	21,932	△12,159	12,159 [980]	44.6%	△ 1,738	1,426	△1,889 [0]	
合計	120,570	522,755	78,609	231,153	△152,544	148,140 [15,037]	—	121,673	544,004	80,798	233,646	△152,848	144,613 [13,836]	—	△ 21,249	304	3,527 [1,201]	

※ P A S P Yシステムを未導入の路線については、いきいきバス利用者に適用される優待料金と運賃との差額分が補填されていません。このため、経常収支率を算出する際は、経常収益に優待負担金相当額を加算し計算しています。

乗合タクシー

(単位：人、千円)

区分	平成28年度							平成27年度							対前年度比較		
	人口	乗車人数 ①	経常収益 (a)	経常費用 (b)	経常収支 (c) (a)-(b)	運行負担金 〔うち県補助〕③	経常収支率 (a)/(b)	人口	乗車人数 ①	経常収益 (a)	経常費用 (b)	経常収支 (c) (a)-(b)	運行負担金 〔うち県補助〕③	経常収支率 (a)/(b)	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	運行負担金 ③-④
1 吉浦地区 (あじさい号)	10,563	20,072	2,953	7,745	△4,792	4,100 [669]	38.1%	10,729	18,122	2,634	6,039	△3,405	3,000 [633]	43.6%	1,950	△1,387	1,100 [36]
2 警固屋地区 (おでかけバス)	4,888	2,359	425	2,554	△2,129	1,200 [0]	16.6%	5,034	2,771	367	2,625	△2,258	1,200 [0]	14.0%	△ 412	129	0 [0]
合計	15,451	22,431	3,378	10,299	△6,921	5,300 [669]	—	15,763	20,893	3,001	8,664	△5,663	4,200 [633]	—	1,538	△1,258	1,100 [36]

3 今後の方向性

これまで生活交通に係る課題を抱える地域においては、地域住民と運行形態等について協議してきました。さらに、平成26年11月に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）が改正されたことにより、今後、地域全体を見渡した総合的な交通ネットワークの形成について定めることができるようになった「地域公共交通網形成計画」を、地域住民、バス事業者と協議しながら策定していきます。